



2019年7月31日

ポリプロピレン製造設備の停止について

日本ポリプロ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：善林 永寿、以下「当社」）は、この度、鹿島工場（茨城県神栖市）のポリプロピレン製造設備 1 系列の停止を決定致しましたのでお知らせいたします。

ポリプロピレン樹脂の事業環境は、今後も中東・アジア地域での新增設が計画され、汎用品を中心とした海外品の流入による国産品需要の低迷によって、非常に厳しい状況の到来が予想されております。

当社は、プラントの競争力強化と機能性ポリプロピレンの拡充により、収益力の強化を進めています。この方針に沿って、現在、五井工場（千葉県市原市）にポリプロピレン製造設備 1 系列の建設を進めておりますが、この度、更なる事業基盤の強化、合理化を進める施策として、鹿島工場のポリプロピレン製造設備 1 系列の停止を決定致しました。

当社は今後とも、たゆまぬ技術開発を通じて製品の高機能化を達成し、お客様へ優れた材料を安定して提供できるよう努め、新たなマーケットへの参入を図って参ります。

記

■ 設備停止の概要

設備名	: ポリプロピレン製造設備 第2系列（スラリー法）
工場所在地	: 茨城県神栖市
生産能力	: 10.6万トン/年
停止時期(予定)	: 2020年4月

以上

問合せ先：

日本ポリプロ株式会社 総務部 TEL：03-6748-7190